

中央公民館だより

そうぞうながと



発行 | 長門市中央公民館運営協議会 広報担当
TEL | 0837-23-1181 FAX | 0837-22-3648
E-mail | chuo.kominkan@city.nagato.lg.jp

中央公民館広報紙
No.194



伝統の舞

楽棧敷を彩る

湯本南条踊
(湯本南条踊保存会)



楽踊・虎の子渡し
(上の原楽踊保存会)



楽踊・月の前の伶楽
(藤中楽踊保存会)

開館一周年記念 里帰り企画展開催中
『四十年ぶりの里帰り…日置雨乞台の石器たち!』

長門市で最も古くから人々が住み始めた場所は、長門市日置の雨乞台と言われています。ここでは一万六千年以上前の旧石器時代に人々が使っていたとされる石器が見つかっています。この度、ヒストリアながと開館一周年を記念して、本遺跡で採集された石器類の多くを収蔵されている山陽小野田歴史民俗資料館からお借りし、約四〇年ぶりに里帰りしてきた品々を展示しています。

これらの石器には、長門地域では産出されない石材が数多く見られます。一万年以上も前の時代に、雨乞台に住んでいた雨乞縄文人は、命がけで海を渡り、石器の素材を探しに行っていたことが想像できます。雨乞縄文人が苦勞の末に手に入れた石材で作られた道具の数々をご覧ください。

その中でも、イチ推しは、雨乞縄文人が身に付けていたとされる『**玦状耳飾**』です。雨乞縄文人のおしゃれ度を伝えてくれます。ただ、想像するに、一万年以上も前に、耳たぶに穴を開けてこの耳飾りを通したことを考えると、縄文人のおしゃれは、石材を手に入れると同じく、命がけ、苦痛を伴う上でのおしゃれだったのかなと思ってしまう。一見の価値ある出土品だと思います。

石器について詳しい山口県埋蔵文化財センター専門職員の講演会を次の日程で計画していますので、是非、ご来館、ご拝聴ください。

資料提供 山陽小野田歴史民俗資料館 (古代展示担当 新江田)

『開館一周年記念講演会』

日時 十月十四日(土) 十時～十二時

講師 塚本史晃氏(山口県埋蔵文化財センター専門職員)

演題 『海をわたってやってきた石く雨乞台遺跡の魅力』

講演会の後、展示会場にてギャラリートークを開催

その他 料金無料 予約不要



『玦状耳飾』
けつじょうみみかざり

わが家のオンリーワン
ペット編



白色が夜叉丸、茶色がレンです。
毎日お部屋の中で、かけっこしたり、イタズラしたり、パワフルに過ごしています♡

今月のうた

山茶花クラブ

流灯に心を寄せて手を離す

山田 耕司

曼珠沙華災ひ陰し鉄軌かな

佐貫 勝代

夢を見るゴッホと歩く星月夜

中村 瀧江

長門短歌会

病窓に入道雲のあまた湧き

山下 映子

鯨にチワワ鳶は輪を描く

山下 映子

青い空飛行機雲があざやかに

吉富 成子

ため息をつきしばし見つめる

吉富 成子

雲梯をすいすい渡る孫娘

原田 満江

空を見上げて満面の笑み

原田 満江

深川地区の人口

世帯数	5,945	(-10)
男性	5,614	(-26)
女性	6,496	(1)
計	12,110	(-25)

(R5年9月1日現在)

中央公民館 10月の行事予定

7・21(土)	キッズエクササイズ(3B 体操)
7(土)	子どもクラブ
11・25(水)	親子でJミック
4・18(水)	スマホ教室
14・21(土)	わくわく土曜塾
15(日)	第43回深川地区体育祭

編集後記

▼今年の夏は異常に暑い夏でした。9月中旬になり、朝夕は幾分涼しくなってきたものの、昼間の猛暑は依然として厳しくいまだに夏の終わりが見通せない今日この頃です。周辺の田んぼは一斉に稲刈りが始まり、畦道には色鮮やかな彼岸花が咲き誇っています。季節の音は蝉から虫の音へ(敬)

地域がつながり奉納芸能 かつての賑わいを取り戻した赤崎祭り

9月10日(日)、赤崎神社一帯で赤崎祭りが開催されました。本殿祭の後に、赤崎グラウンドの舞台での正明市の「式三番叟」を皮切りに、国指定重要有形民俗文化財の「赤崎神社楽棧敷」では、開作の楽踊「虎の子渡し」、湯本地区の「湯本南条踊」、藤中の楽踊「月の前の伶楽」が次々に披露・奉納されました。掛け声や楽器のタイミングに合わせて、華やかで堂々たる舞が披露され、観客からは大きな拍手が贈られました。また、奉納終了後には餅まきも行われ、たほか、会場周辺には多くの露店が立ち並び、4年ぶりの制限のないかつての賑わいを取り戻していました。



この赤崎祭りの「赤崎神社楽棧敷」で奉納される伝統の神事は、427年前の1596年(慶長元年)にこの地で牛馬の疫病が流行したため、農業の守護神をまつる赤崎神社に祈願し、病気の終息を感謝し、各地の踊りを奉納したことが始まりとされています。

今年も現在の疫病であるコロナの終息祈願につながる意味合いを持つ奉納となりました。

「第43回深川地区体育祭」ご案内

10月15日(日)、深川中学校グラウンドにて、深川スポーツ振興会主催・長門市中央公民館共催の「第43回深川地区体育祭」を4年ぶりに開催します。

深川地区を8分団に分け、開会は9時30分、向陽マーチング・エンジェルの演奏に合わせて入場行進を行います。得点競技には前もって出場いただく方々を各行政区の支部長の皆様にとりまごめいただいておりますが、開会式後のビンゴゲーム(入場行進に参加した方のみ)や、オープン競技には深川地区の皆様どなたでもご参加いただけますので、ご家族・お友達とぜひお越し下さい。詳しくはプログラムをご覧ください。

- 1分団(赤)** 田屋
- 2分団(白)** 駅前、湊1東、湊1西、湊2、湊中央、湊3区
- 3分団(黄)** 中山、緑ヶ丘、藤中、江良
- 4分団(緑)** 正明市1・2・3・4・5区、上郷、下郷
- 5分団(青)** 下川西、上ノ原、後ヶ迫、開作、境川、上川西1・2・3区
- 6分団(桃)** 板持1・2・3・4区
- 7分団(黄緑)** 殿台、大河内、小河内、河原、門前、湯本、三ノ瀬
- 8分団(紫)** 山小根、渋木中・1・2・3区、大埕、坂水、真木

躍進！ 深川中学校体育祭 開催

9月2日(土)、『躍進』を發揮しよう自分の個性をスローガンに体育祭が開催されました。終始生徒たちのはじける笑顔と大声援に包まれた特別な空間を満喫することができました。



俵山・深川みすゞ学園 小中合同学校運営協議会【報告】

9月21日(木)、俵山・深川みすゞ学園4校合同の学校運営協議会が向陽小学校で開催され、出席しました。

今回の熟議では、10グループに分かれ、他地域の実践を視聴した後、各運営協議会ごとに今後取り組みたいことを協議しました。話し合いの中では、子どもがもつと主体的に問題提起できるように、時間の確保とその調整が課題になることや、新たな取組ばかりに走るより今あるものを工夫する考え方が大切であるなどの意見が出されました。

最後に、みすゞ学園長の新居校長が閉会のあいさつで、「小学校段階からゴールを共有していることが何より大切。そして最終的にその成果を示すことや成果をどう評価するかが大切。」と、この会の総括として話されました。

地域でめざす子ども像
○長門を愛し、あいさつ
でつながる元気な子
○自分の思いや考えを
伝えられる素直な子



子どもクラブ「はじめての料理」 手洗い教室

9月2日(土)、子どもクラブ「はじめての料理」で、調理の前に「手洗い教室」を行いました。これは毎年、山口県食品衛生協会と山口県長門健康福祉センターが行っている事業です。

講師の方から何故手洗いが大切か説明を聞いた後、実際に手洗いをして、汚れが落ちているかチェックしました。



汚れが光る特殊な液を手に塗って、石けんで手洗い。

しっかり
ゴシゴシ！



ブラックライトを当てて汚れを確認。汚れが残った部分を洗い直して、全員綺麗に手洗いできました！

手洗いの時に汚れが残りやすいところ

- ・指先(特に親指に注意！) ・手の甲
- ・手の甲側の手首 等 特に意識して手洗いを！

